

事業所訪問

講話 福祉ゾーンの施設が求める国や地域との連携

メイプル滋賀工場 理事長 菅野 禎彦 氏

まず、この会社の設立の経緯から申し上げます。

平成6年に滋賀県が障害者雇用の事業所の誘致を計画し、いくつかの企業に声をかけられました。その時に支援会社である不二サッシが手を上げました。

そして平成7年に工場建設に着手して、平成8年に完成し事業を開始しました。既に27年が経過しています。



どのようなことをしているのか?といたしますと、アルミサッシに関連した部品です。窓そのものではなく、外側についている格子や日よけのようなものや 隙間を作って風を通す機能が加わったガラリといわれるものなどです。障害を持った方々にとっては、複雑なものは作りづらいところもありますので、出来るだけ簡単なものや作り直しができるものを探します。また大きくて持てないものや重いものも作りづらさがあります。このような条件に合うものをチョイスしてセールスをしているといったところです。

作業工程は、パンフレットに記載しているとおりに **切断**→**加工**→**金具付**→**組立**→**養生**→**出荷** で、こういった作業を分担して行っています。

現在の作業者は男子31名、女性2名で平均年齢は39.5歳で、内訳は資料に記載のとおりです。建物は、当初から障害者の人を雇用して作業を行う事を前提としていますので、工場はもちろんのこと会議室や食堂を含めて車椅子が往き来できるようにバリアフリー、トイレも車椅子で使用できる設えて4ヶ所に設置されています。ここは、33名の障害者の方と8名の職員で作業をしています。33名の作業者は6つの班に分けられておりそのグループで1人がリーダーの役割を受け持っています。職員は、そのグループの指導や相談等に携わっています。勤務時間は8時35分から17時15分までとしています。障害を持った人が就業されているケースは他の事業所にも沢山ありますが、フルタイムで働く職場の数は少ないと思います。後で、作業場を見学していただきますが、金属工場のような形態で就労支援事業A型が少ないので、他社からの見学も多々あります。

就労継続支援事業

通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業の事を言います。

雇用契約を結び利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の2種類があります。



ここは、いろんな障害をもっておられる人がおられますが、離職率が低い。言い換えれば就労して途中でやめてしまうという人が少ないです。

作業は一般の製造会社と同じように行います。なかなか難しいですが、なるべくそのような形に近づけて、やれるように指導をしています。機械を使いますので、教育がきちっとしていなければ危険が伴います。また、法的な資格は当社に入ってから免許を取ってやれるように教育をするという方法もとっています。

業績的な話をしますと、令和2年～3年はコロナの影響もあり建築業界は以前のような需要が見込めなかったことから、令和2年度の事業収益は赤字、令和3年度の売上は年間1億円少しのところでしたが、昨年度は1億5千万円まで回復してきました。

アルミの材料を地金といいます、ウクライナ情勢の影響を受け、地金が異常に高騰しました。今年度に入り物価の高騰の気配を強く感じますが、(支援会社に)ご協力をいただいて経済的な負担を少なくした形で運営をしてみたいと考えています。

地域住民の方々との行事は、いろんな形で参加をしておりましたが、コロナ禍のなかで行事が取りやめになるなどがありました。最近になって地域の活動が活発になっていくという見方ができますので、今後の動向をみながら色んな活動に参加をしていきたいと思っています。

《なにか、ご質問があればお受けいたします》

(川瀬) 以前、従業者の方がこのあたりの掃除をされている様子を見かけましたが、どのような形で実施されていますか

(菅野) 隣の障害者福祉センターでとりまとめをされますが、福祉ゾーンの各施設が一緒になって地域清掃を行っています。例年11月頃の実施となっています。集まってといっても、外の寒い日となると十分なことはできていませんが・・・

(深田) 従業員の通勤方法と経路をお聞きします。

(菅野) 通勤手段ですが車椅子の方が3名おられますが、全員が車です。それ以外で、自家用車が3分の1、バイク・自転車が3分の1、電車とバスが3分の1といったところです。経路はいろんなところから来られていますので特定はできません。

(深田) バスの本数が少ないと思われませんが・・・

(菅野) すぐ近くにバス停は、ありますが、本数は非常に少ないですね。

滋賀医大まで行けばバスの本数は多いのですが、私のような健常者でも歩いて15分弱かかりますね。当然、障害をもっている人にとってはつらい距離だと思います。

(一浦) 就労型といいますと、4時間から8時間と・・・比較的短い時間で働いて給料もそんなに高いというイメージは無かったのですが、私の感覚ですが、ここは結構高い給料を払っておられるように思っています。昨年は黒字となったおっしゃっていましたが、これは(支援会社の)不二サッシさんからの受注のみで運営されているのですか？

(菅野) そうですね、比率的にいいですとかかなり多いです。8割くらいになるでしょうね。

(一浦) メイプルさんに値切るということはなされないように思いますが、きっと、社会貢献の部分でやっておられると思うんで、安定的な仕事を出されているように思えますが・・・

(菅野) 特段、うちで作ったから安くなるという話はありませんが、一定の配慮をいただきながら受注させていただいていますが、私は営業窓口の立場で、あちこちの拠点に行って「お仕事をお願いします」と回っていますと、SDGsの時代の世のなかで「だれ一人取り残さない」という風潮によって恩恵を受けていると感じています。

(藤井) 作業で苦手なところがあれば、教え合うということになると思いますが、研修やトレーニングという面で会社として取り組まれているところがあれば教えてください。

(菅野) 研修が必要な部分もありますが、そうでないものは、当社に必要なスキルを示したスキルマトリックスのような専門性を有した表のようなものを作っており、それを有する者によって相互補完し合うような陣容や個人の目標を立てて、それが達成できるように支え合えるように努めています。

(藤井) 長く勤めていると、それができるようになるということですね。

～ そうです ～

(麻植) 「平成6年あたりに県の方策に不二サッシさんが手を挙げて後押しした」と伺いました。今ですとSDGsや企業のCSRなどが話題となってきましたが、当時、そのような動きが無い時に不二サッシさんが手を挙げられた背景があれば教えてください。

(菅野) 不二サッシの背景というよりも、滋賀県さんが早くから関心を持たれていて事業所の力を借りたいというところから始まっていますね。

たまたま、パナソニック(当時の社名はナショナル)さんが進出されサッシを納める協力会社であったので、このような情報が伝えられた。当時の社長が「そのような大事なことであれば是非やってみよう」という気持ちからこのお事業が始まりました。



(麻植) 今ですと、株主総会などで、会社のイメージアップの話題に繋がりますが、そのような風潮が無かった時代に決断されたことに敬意を表します。

(川瀬) ここで習熟された方が、ずっとここに留まれる以外に技術を活かした職場を希望すれば、斡旋するといったようなシステムはあるのでしょうか？

(菅野) システムというよりは、本人からの希望があれば協力して職場を斡旋したという事例があります。

(藤井) 仕事を続けることによって、障害の程度が軽くなるというようなことは考えられますか？

(菅野) 障害の程度は変わらなくてもやれることが沢山出てきます。医療の観点からも(良好と)認められる部分が出てくることと思っています。

(藤井) 班の指導はどのような形で行われておられますか？



(菅野) ちょっと、こちら(ボードに貼ってある組織表)をご欄ください。小規模な6つのグループ(各5名程度)があってその中にリーダーやグループ長に位置付けられた人がいます。

(図を指しながら)ここまでが障害を持った方々で、その上部に記載されているのが担当職員です。

仕事ですが1班は窓手摺り、連結材であったり2班はガラリ3班はルーバーであったりと内容は異なります。

*** それでは これから 工場を案内します ****





社会福祉法人メイプル メイプル滋賀工場

就労 A 型

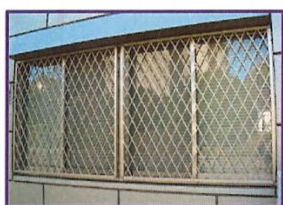
場所 〒525-0072 滋賀県草津市笠山 8 丁目 5 番 149 号
TEL 077-561-6910 **FAX** 077-561-6914
HP maple-shiga.or.jp **E-mail** maple@fujisash.net



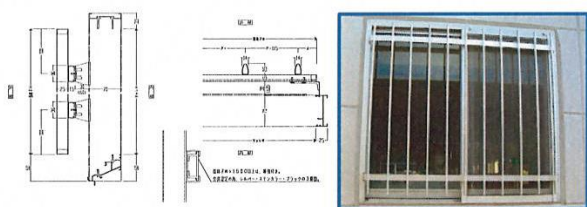
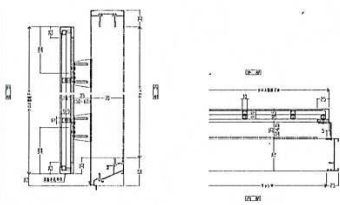
取り組み内容

社会の一員として自立を目標に、職場を通じて働く意味を教え指導をしていきます。

アルミサッシ製品を、**切断** ⇒ **加工** ⇒ **金具付** ⇒ **組立** ⇒ **養生** ⇒ **出荷** までの作業を、指導員・リーダーを中心とした班で作業をし、従業員のスキルアップを目指し一人一人が得意な作業を持ち、苦手な作業を克服できるように教えて自信が持てるように取り組んでいます。



クロス面格子



面格子

特色

働く意欲があっても、一般企業では難しい人達がこの職場で働き自信を付けられます。継続して働くことができる施設です。転職・退職は、本人の意思を尊重し就職活動の応援をします。

事業所概要

- 法人名・・・社会福祉法人メイプル
- 操業開始・・・平成8年4月1日
- 利用定員・・・32名
- 通勤日数・・・年248日(月平均20.6日)
- 勤務時間・・・8時35分～17時15分
- 求人・・・ハローワーク
- 実習受入・・・相談による

実績(令和4年度)

- 労働条件等・・・月平均賃金 149,000円(別途賞与年2回) 各種保険加入あり 交通費支給
- 施設内行事・・・健康診断 年2回 レクリエーション(春/秋)年2回 消防避難訓練や歯科指導など
- 利用者状況(R5.4.1時点)

性別	男	女		
利用者数	31人	2人		
平均年齢	40.5歳			
障害種別	身体	知的	精神	その他
	8	19	6	0

※障害者数33名の内、A型利用者25名
 ※車いす3名(施設内バリアフリー)

- 職員構成(R5.4.1時点)

性別	男	女
職員数	7人	1人

利用者の声

◆ぼくは、面格子の仕事をしています。楽しいです!!

◆私達は、社会に貢献しています!

- ◆もらった給料で自分のほしい物をかえる。
- ◆自分の障害について相談しやすい職場です。
- ◆工具をよく使うので手先が器用になりました。
- ◆友達ができ、人と話せるようになった。

事後アンケートの記録

- ・障害を持つ人が働きの出来る職場を作りあげていることに感動しました。
- ・通勤手段が大変ですね（通勤時のバスの本数が少なく医大まで行かなければならない時）
- ・通常では実現できないようなところを見学させていただきありがとうございました。
- ・働くことが楽しそうに見える。
- ・良いところを企画していただいた。認識を新たにしました。
- ・離職率が低い事、帽子・ヘルメット着用する安全意識の徹底
- ・施設の運営が適切になされている（一定の雇用確保をしながら）
- ・食堂の壁に貼られている“約束事5つ”が記憶に残っている。
- ・働いている姿からは、障害者とは思えない。
- ・収益をあげているとは驚き。



（メイプル滋賀工場にて）

一浦	麻植	藤井	木村	小野	川瀬	松永	
菅野さん		深田	井上	田内	山本	先川	福井